

近畿中部



防衛省
MINISTRY OF DEFENSE

近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2府7県の防衛に関する情報誌



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成19年9月1日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：癒し業
宝物：手作りのまが玉乳
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、さしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2021
冬



満開の桜の下、堂々と行進する新入隊員

(写真提供：陸上自衛隊大津駐屯地)

目次

潜水艦命名・進水式	2
防衛施設周辺自治体（伊丹市）	3
部隊紹介～陸上自衛隊大津駐屯地	4
地方協力本部だより	5
令和2年度防衛大臣感謝状伝達（高島市長）、局長感謝状贈呈（加賀市長、能美市長、川北町長）	6
令和2年度局長感謝状贈呈（株式会社ジーエス・ユアサテクノロジー）	7
お知らせ	8

潜水艦「たいげい」命名・進水式

清々しい秋晴れのなか、令和2年10月14日（水）、三菱重工業株式会社神戸造船所（神戸市兵庫区）において、平成29年度計画潜水艦の命名・進水式が行われました。

式典は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら行われ、岸信夫防衛大臣や三菱重工業株式会社の泉沢清次社長ら約150人の関係者が出席しました。

潜水艦の名称は、「海象、水中動物の名、ずい祥動物の名」を付与することが標準とされており、海上自衛隊の部隊等から募集した結果と各種の検討を踏まえ、新造された潜水艦は、防衛大臣により、「たいげい（大鯨）」と命名されました。

進水式においては、関係者らが見守るなか、防衛大臣が斧で支綱を切断すると、くす玉が開くとともに、「たいげい」は、徐々に海面へと進水し、会場は、盛大な拍手に包まれました。

「たいげい」は、海上自衛隊の主力潜水艦「そうりゅう」型の後継となる最新鋭の3000トン型1番艦であり、全長84.0メートル、全幅9.1メートルで、11番艦「おうりゅう」、12番艦「とうりゅう」に続き、リチウムイオン電池を搭載することによって、潜航性能の向上が図られています。

また、探知能力が向上したソナーや静粛性が向上した船体構造が採用されたほか、女性用寝室の確保やシャワー室の通路にカーテンを設ける等、女性自衛官の勤務にも対応しています。

「たいげい」は、今後、艦内ぎ装工事、海上公試を経て、令和4年3月頃に海上自衛隊へ引き渡される予定となっており、契約の適正な履行を確保するために、近畿中部防衛局調達部装備課の職員が監督及び検査業務に従事しているところです。



式台の様子（最前列中央が岸信夫防衛大臣）



自衛艦命名書（「たいげい」と命名）



支綱を切断する岸信夫防衛大臣



進水する「たいげい」

防衛施設周辺自治体の紹介（伊丹市）

伊丹市は兵庫県南東部にあります。周囲は、兵庫県尼崎・西宮・宝塚・川西各市や大阪府の豊中・池田両市と接しています。大阪市からは約10キロメートルと近く、大阪の衛星都市の一つとも位置づけられます。地形は全体に平坦で、東部に猪名川、西部に武庫川という2つの大きな川が市内を流れています。伊丹市は大阪国際空港（伊丹空港）があるまちとしても知られています。



（旧岡田家住宅・酒蔵）

江戸時代前期（1674年）に建てられた店舗（町家）と酒蔵です。
現存する国内最古の酒蔵として国の重要文化財に指定されています。
（令和2年9月～令和4年3月まで再整備工事のため臨時休館）



（伊丹スカイパーク）

滑走路のすぐ横の長さ1.2キロメートル、幅80メートルの公園。絶好の飛行機写真スポットとして有名です。



令和2年度日本遺産認定

「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷

令和2年6月19日 神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市（幹事市）
の5市が日本遺産に認定されました



江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の樽廻船によって、「下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。酒造家たちの技術革新への情熱は、伝統ある酒蔵としての矜持と進取の気風を生み、「阪神間」の文化を育みました。

六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の香漂う酒造地帯を訪れ、蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。



部隊紹介～陸上自衛隊大津駐屯地

分屯基地の概要

滋賀県大津市に所在する大津駐屯地は日本最大の面積と貯水量を誇る琵琶湖に面しており、その特性から海軍航空基地として発足し、大津海軍航空隊などが置かれていました。戦後米軍による接收を経て昭和34年に陸上自衛隊大津駐屯地として新たに開設されました。

現在、駐屯地には中部方面混成団本部が置かれ、第4陸曹教育隊、第109教育大隊などの部隊が駐屯しており、主に陸曹に対する教育や新入隊員に対する教育、予備自衛官等の招集訓練が行われています。



上空から見た大津駐屯地



駐屯地から比叡山を望む



琵琶湖の前で行われた入隊式

教育紹介

陸曹に対する教育は、最先任上級曹長課程、陸曹上級課程、陸曹中級課程、初級陸曹特技課程、陸曹候補生課程、基礎英語課程といった様々な教育が年間を通して行われています、新入隊員に対しては約3ヶ月間の基礎教育を4月から6月をピークに年間2～3回行っています。この教育には女性隊員も含まれ、多い年には約300名の女性隊員の教育も行われています。この他、予備自衛官、予備自衛官補に対する招集訓練や自衛隊車両を運行するために必要な免許を取得させる教育も行っており、これら全てを合すると年間3,000名を超える隊員が大津駐屯地で教育を受けることになります。



陸曹候補生教育



新入隊員教育



同期との別れ

地域との交流

創立記念行事、びわこ大花火大会開催時に駐屯地を一般開放して地域の皆さまと交流しています。また、大津祭り、びわ湖毎日マラソン等の地域行事へ積極的に協力しています。



創立記念行事一般開放



びわこ大花火大会一般開放



びわ湖毎日マラソンへの協力



大津祭りへの協力

地域との交流

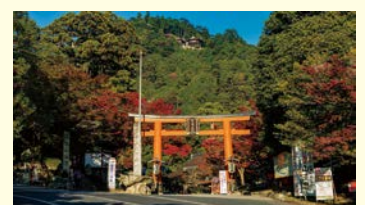
駐屯地の所在する滋賀県大津市にはユネスコ世界文化遺産に登録されている比叡山延暦寺や映画の舞台にもなった近江神宮をはじめとする数多くの歴史的建造物があります。



比叡山延暦寺阿弥陀堂



近江神社



日吉大社

(写真提供：陸上自衛隊大津駐屯地)

地方協力本部だより



自衛隊地方協力本部は、自衛隊を志す方やご協力・ご支援をいただける皆様への窓口です。

<p>富山地方協力本部 076-441-3271 https://www.mod.go.jp/pco/toyama/</p>	<p>Twitter Facebook 今話題の情報を 随時発信中！ フォローお待ちしております。 自衛隊 富山 検索</p>
<p>石川地方協力本部 076-291-6214 https://www.mod.go.jp/pco/ishikawa/</p>	<p>ぼく、としぼう！ツイッターにて県内イベントや 応募企画を発信しているよ！ぜひフォローしてね 自衛隊 石川 ツイッター</p>
<p>福井地方協力本部 0776-23-1910 https://www.mod.go.jp/pco/fukui/</p>	<p>さまざまな情報を配信中です！ フォローしてね☆ Twitter Instagram</p>
<p>滋賀地方協力本部 077-524-6446 https://www.mod.go.jp/pco/shiga/</p>	<p>登録& いいね！ よろしく お願いします！ 自衛隊 滋賀</p>
<p>京都地方協力本部 075-803-0820 https://www.mod.go.jp/pco/kyoto/</p>	<p>京都の自衛隊情報はココからチェック！ 自衛隊 京都</p>
<p>大阪地方協力本部 06-6942-0541 https://www.mod.go.jp/pco/osaka/</p>	<p>まもるやで！最近インスタや始めて、映えてる写真 載せてるから見てな～ツイッターもやで！ 自衛官の紹介動画も絶賛公開中や！ HP・YouTubeで見られるで～今すぐ検索や！</p>
<p>兵庫地方協力本部 078-261-9777 https://www.mod.go.jp/pco/hyogo/</p>	<p>イベント情報・自衛艦 採用試験の情報はHPへ！ 自衛隊 兵庫 検索</p>
<p>奈良地方協力本部 0742-23-7001 https://www.mod.go.jp/pco/nara/</p>	<p>イベントや試験の案内等を発信しています。 Twitter (@NaraPco) と Insta (nara_pco) を毎日更新 奈良地本の活動を見てほしいシカ！！</p>
<p>和歌山地方協力本部 073-422-5116 https://www.mod.go.jp/pco/wakayama/</p>	<p>●各種イベント情報、説明会案内等随時各種SNSを更新しています。 「和歌山地本HP・ツイッター・フェイスブック」 逐次更新していますので、皆さん和歌山地本で 【検索・検索】^^ コロナに負けるな、そろそろイベントしたなあと思い みかんの助 うめの助 かきの助 ますが、国民の安全が1番です。今は我慢の時期！！ 和歌山地本3兄弟</p>

自衛官募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生	18歳以上 33歳未満の者	年間を通じて 行っています。	受付時にお知 らせします。	試験日にお知 らせします。

令和2年度 防衛大臣感謝状伝達（高島市長）

令和2年11月9日（月）、高島市役所において、滋賀県高島市の福井正明市長に対し、防衛大臣感謝状を伝達しました。

福井市長は、我が国の防衛と自衛隊の任務の重要性について深く認識され、永年にわたり陸上自衛隊饗庭野演習場等の防衛施設の安定使用と防衛基盤の育成に多大な貢献をされたことから、今般の贈呈に至ったものです。

（例年、自衛隊記念日行事の一環として東京都内で実施される防衛大臣感謝状贈呈式が、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、各機関から伝達することとなったもの）



福井正明高島市長に対する防衛大臣感謝状伝達

令和2年度 近畿中部防衛局長感謝状贈呈（加賀市長、能美市長、川北町長）

令和2年11月16日（月）、石川県加賀市の宮元陸市長、同能美市の井出敏朗市長及び同川北町の前哲雄町長に対し、榊賀局長から感謝状を贈呈しました。

宮元市長、井出市長及び前町長は、我が国の防衛に対する深いご理解と強力なリーダーシップの下、当局の円滑な業務の推進、航空自衛隊小松基地の安定使用に多大な貢献をされました。



宮元陸加賀市長への感謝状贈呈



井出敏朗能美市長への感謝状贈呈



前哲雄川北町長への感謝状贈呈

令和2年度 近畿中部防衛局長感謝状贈呈 (株式会社ジーエス・ユアサテクノロジー)

令和2年11月20日(金)、株式会社ジーエス・ユアサテクノロジーの並河芳昭社長に近畿中部防衛局長から感謝状を贈呈しました。

同社は、昭和32年から現在に至るまで、永年にわたり潜水艦用主蓄電池を安定的に供給してきており、更に、その卓越した技術と不断の努力をもって、潜水艦用リチウムイオン電池を開発し、信頼性の向上及び高度な品質管理体制の構築を確立されました。

また、令和2年3月5日には、世界で初めてリチウムイオン電池を搭載した潜水艦「おうりゅう」が海上自衛隊に引渡されたところであり、現在建造中の潜水艦「とうりゅう」及び先に紹介した潜水艦「たいげい」に搭載されているリチウムイオン電池も同社が開発したものです。

高度な品質管理体制の構築は近畿中部防衛局調達部装備課の職員が実施する監督及び検査業務の効率化に貢献するとともに、主蓄電池の能力向上は潜水艦の海上防衛力の強化に大きく寄与したことから、その極めて大なる功績を称えて、深く感謝の意を表したものです。



感謝状贈呈



並河芳昭社長（前列中央左）と榎賀政浩局長（前列中央右）

株式会社ジーエス・ユアサテクノロジーってどんな会社なの？



株式会社ジーエス・ユアサテクノロジー本社

港区と京都府京都市となっています。

製品は潜水艦用電池を代表とする防衛用途、H-2A(B) ロケット用、気象衛星ひまわりを代表とする人工衛星用、国際宇宙ステーション用等の宇宙用途、ボーイング787用等の航空機用途、有人潜水調査船「しんかい6500」用を代表とする海洋用途といった「深海から宇宙まで」の幅広い分野で活躍

株式会社ジーエス・ユアサテクノロジーは株式会社GSユアサのもと防衛・宇宙・航空・海洋分野で使用する特殊仕様の電池・電源の製造販売に特化した事業子会社です。

2004年に日本電池株式会社と株式会社ユアサコーポレーションが経営統合して株式会社GSユアサが設立されました。

本社は京都府福知山市、生産部門は京都府福知山市、京都市及び滋賀県草津市の事業所、販売拠点は東京都

する製品を供給することで社会の発展に貢献しています。株式会社GSユアサ全体では、自動車、オートバイのエンジン起動用鉛蓄電池、停電時に備えたバックアップ用据置蓄電池・電源装置、電気自動車やハイブリッド自動車の駆動用電池を生産販売しています。



有人潜水調査船用電池



人工衛星用電池

近畿中部防衛局からのお知らせ

○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381 (夜間及び休日)

■ご意見・ご感想等募集■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)	(電話・FAX)
〒540-0008	TEL 06-6945-4953
大阪市中央区大手前4丁目1-67	FAX 06-6910-5669
近畿中部防衛局	(メールアドレス)
広報編集委員会(報道官気付)	goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌近畿中部は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU
2021年 通算 68号
令和3年1月発行
近畿中部防衛局
広報編集委員会
TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。